



第 63 号



発行/社会福祉法人 素心会
責任者/事務局長 高瀬 尚人
〒259 - 0103
神奈川県中郡大磯町虫窪 39 番地 1
TEL. 0463 - 71 - 1255
レイアウト・印刷 貴峯荘ワークピア

心創展



素心デイセンター 宝利 尚太

昨年度の心創展は、二宮ラディアンにて11月21日から25日まで開催された。素心学院・素心デイセンター・地域支援センターそしん合同の芸術祭は毎回華やかな作品で会場は埋め尽くされる。利用者みなさんの素晴らしい作品が生まれてくる現場を見ることは職員だけの特権である。出品作品を選ぶ楽しみ・会場で飾りつけするときのワクワク感も同じだ。自信满满で私の所属する事業所の作品を用意して搬入に向かうと、他事業所からぞくぞくと予想を大きく上回る素晴らしい作品が運び込まれる。利用者みなさんが思うままに作り出す作品には何ものにも代えられないパワーがある。さあ、開催だ！各事業所特有の作品が一堂に集結する心創展は見ごたえ十分である。ここだけの話、個人的におそらく私が一番心創展を楽しんでいるのではないだろうか。来客のかたに作品ひとつひとつを細かく説明したい、昂る気持ちを抑えて、私はクールを装い受付に待機していた。



虫窪24番地



むしくほ ニジウヨンパンチ
趣味で俳句や短歌作りに取り組んでいる。楽しいことや悲しいこと、感動したこと、発見など、感じたことをことばで表現しようとする中で「私はこんなことを考えていたのか」と自分自身について気づく楽しさがあると感じている。

日々、利用者お一人おひとりについて気づきを得ることも私にとり大きなよろこびである。

好き嫌い、得意不得意、やってみたいこと、子供のころの思い出など、日々の関わりを通じてひとつずつ知ることが出来る。それぞれの方をより知っていくためにこれからも気づきを重ねていきたい。

素心学院 支援一課

内藤 千晶



全員で記念撮影をしました



ストラックアウトに挑戦!



職員も焼きそばづくりに奮闘しました

例年通り秋のレクリエーションを催す予定でしたが、デイセンターグラウンドの状況と安全面を考慮してバーベキューを計画しました。昨年10月6日(土)晴天のもと秋のバーベキュー大会が開催されました。前日から朝にかけて雨が降っており開催が危ぶまれましたが、職員が出動すると心配が嘘のように太陽が現れバーベキューを行うことができました。

利用者さんとご家族66名、支援員27名で計93名が参加する盛大なバーベキューとなり、たくさんのお肉やお野菜に焼きそば、デザートには所長特製のフルーツポンチも振舞われました。

また、生活2班の自主製品、就労Bのパンなどの販売も行われ、受付には長蛇の列ができて大盛況となりました。食事がひと段落するとゲームコーナーもはじまり、ストラックアウトに輪投げと多くの方に参加していただき大変盛り上がりしました。バーベキューの最後は全員で記念撮影。ケガや事故もなく無事に終えることができたことに良かったです。撮影が終わった瞬間胸をなでおろしたのを思い出します。バスや自家用車に向かう皆さんの顔を見て満足していただけたのかなと私は感じました。

素心デイセンター 小林 一登



パフォーマンスにさあ挑戦!



コンサートでは思わずスイングする方も



念願のクリスマスプレゼントです。



素敵な音楽とともに楽しいひと時を過ごしました

素心学院 クリスマス会



玄関からクリスマスムードが漂います。

ジャケットに蝶ネクタイ・ふわふわのセーターにスカート姿。さあ、パーティーの始まりです。今日12月21日は利用者の方々が心待ちにしていたクリスマス会です。「昨年より「大人のクリスマス」をテーマに企画しています。11月下旬には玄関に大きなクリスマスツリー・グラウンドのイルミネーションと寮の中の飾り付けを行い学院内はクリスマスムード一色になります。「今年のプレゼントは何だろう。クリスマス会には何を着よう。」等心待ちにしている様子が伺えます。外部から招いたイベントは午前がピアノによるジャグリングやバランス芸です。おどけたピアノがハラハラドキドキするパフォーマンスを繰り広げ、大きな拍手と笑顔が溢れました。午後はピアノとサックスによるコンサートです。皆静かに聴けるだろうか...と心配しましたが、演奏が始まると間近で見たことのない楽器が奏でるムードあるメロディーに身体を揺らす方、目を閉じて聴く方等美しい音楽の世界に引き込まれていました。イベント・クリスマスランチ・プレゼント・ケーキタイムとクリスマスを満喫できた日となりました。さて、次回のクリスマス会はどうなことで利用者の方々を驚かせようか私もわくわくしながら考えています。

素心学院 支援二課 遠藤里香子

地域支援センターそしん 家族ペシリレー

放課後等デイサービス

水谷 健介様
水谷 佳子様(母)



脳性マヒで全介助が必要な健介と、そしんの出会いは、1才9カ月の時。きょうだい活発に遊ぶ姿を、車いすの上で眺める毎日に悩み始めた頃でしたが、今では健介の楽しみであり、大切な居場所となっています。当時は早期療育の重要性を知らなかった為、こんなに小さいのにとの葛藤もありましたが、そしんの子供達の輝く表情と、職員さんの丁寧な対応を拝見し、きつと健介が楽しく過ごせると思い、プロの手に委ねる決心をしました。初めは女性の職員さんでないと泣いていましたが、次第に安心してすごせるようになり、お友達もたくさんできました。もうすぐ5年生になる健介は、地元小学校に通っていますので、放課後アイのお迎えの時は特別な配慮が必要を所を、快く対応していただき感謝しています。家ではできない様々な体験や、休日の移動支援を通じて、心身ともに健康に過ごす事ができています。これからもよろしくお願い致します。

地域支援センター そしん季節の行事



昨年8月で二宮町へ移転・開所から一周年を迎えた地域支援センターそしんで、新しい環境の中で季節ごとの行事にも取り組むようになりました。昨年は、秋から冬にかけて季節の変化を楽しんでいたような催しとして、生活介護と児童発達支援・放課後等デイサービスの通所型のサービスを利用していただいている方を対象に、野点や、クリスマス会、餅つきなどの行事を実施しました。昨年10月下旬に開催した秋の野点では、生活介護のご家族の方もお招きし、地域の方から譲っていただいた野点用の大きな傘のもと、陶芸の活動で自分たちが作成した茶碗に、石臼で挽いた抹茶を点ていただきました。天候にも恵まれ、琴の演奏を聴きながら優雅な時間を満喫した一日でした。また、クリスマスには、児童発達支援・放課後等デイサービスの児童はこの目のために練習した寸劇を披露しています。その後、生活介護の利用者の方がサントに扮してプレゼントを渡していましたが、子どもたちにも大変好評で、サント役の利用者さんもすっかり気分はサンタクロースになり、微笑ましく有意義な交流の機会となりました。一方生活介護の皆さんは、厨房のスタッフも含めて職員一同が席に着いてクリスマスランチを楽しみました。皆さんの食事をおもてなしする厨房のスタッフへ感謝の意を込めて、利用者さんの代表からささやかなプレゼントを手渡しています。

年末には、餅つきを行いました。大きなガスコンロで豚汁を調理し、手作りのおにぎりを召し上がっていただきました。子どもから大人まで杵を振るって餅つきの体験を行い、一年の締めくくりにさせていただきます。

そして、年が明けてからは、バレンタインデーに向けて、カカオ豆を石臼で挽いて手作りのチョコレート作りの練習も行いました。地域支援センターそしんでは、子どもから大人まで、様々な特性や背景をもつ方がご利用されています。この様な催しを通して季節の変化を感じとれることと、決まっていなかったとしても自分たちの手でつくった器や装飾品を活用するなど、手づくりならではの温もりを大事に行ってきた様子うかがえました。秋の野点では、地域の方から譲っていただいた野点用の傘をヒントに、今まで利用者の皆さんも職員も経験したことのない野点の催しを行うことができました。地域の方も含めて様々な立場の方に支えられながら、行事を通して今まで経験したことのないことに挑戦する一年にしたい、そんな心意気を感じました。

地域支援センターそしん 大野裕史





花だより

素心学院

高橋 竹彦さん

現在54歳。皆から親しみを込めて「竹彦さん」と呼ばれています。なぜかほうつておけないと感じさせるような、やさしく楽しい性格の持ち主です。数年前までは音楽やダンスが大好きで、旅行の際の宴会や納涼祭、クリスマスなどのイベントでは顔をクチャクチャにしてダンスを踊っていた姿が思い出されます。平成16年より、学院からグループホームへと生活の場を移し、他利用者3名と新たな生活をスタートされました。日中は学院の活動に参加されていましたが、平成28年頃よりホームでの生活が難しくなり、学院に戻り白嶺寮に現在所属しています。年々、身体機能の低下が進み、歩行が難しくなっている現状です。声かけへの反応も以前のようにはいきませんが、楽しい雰囲気の中では少しずつ反応を示しています。愛されるキャラクターの竹彦さんいつまでも元気で楽しく生活できるように支援していきたいと思っています。

素心学院 支援課

飯田 朋己

理事会・評議員会の動き

●第二七九回理事会

平成二十九年十二月九日(土)

- 一 定款の一部改正を承認。
- 二 平成二十八年度神奈川県法人指導監査の改善措置を承認。
- 三 第三十七回評議員会の日時、場所及び議案等を承認。
- その他、理事長業務執行状況及び各事業所の中間報告について報告した。

●第三十七回評議員会

平成二十九年十二月十六日(土)

- 一 定款の一部改正を承認。
- その他、平成二十八年度神奈川県法人指導監査の改善措置及び理事長業務執行状況及び各事業所の中間報告について報告した。

●第二八〇回理事会

平成三十年一月二十五日(木)

- 一 給食業務委託業者の見直し及び選定を承認。

●第二八一回理事会

平成三十年三月十六日(金)

- 一 平成三十年度事業計画を承認。
- 二 平成三十年度予算を承認。
- 三 資金の積立を承認。
- 四 第三十八回評議員会の日時、場所及び内容を承認。
- その他、土砂災害及び太陽光発電に係る地域支援センターそしん屋根貸しについて報告した。

●第三十八回評議員会

平成三十年三月二十七日(火)

- 第一八一回理事会で承認された一三号議案までと、四 土砂災害 五 太陽光発電に係る地域支援センターそしん屋根貸しについて報告した。

●第一八二回理事会

平成三十年五月二十九日(火)

- 一 平成二十九年度事業報告。
- 二 平成二十九年度決算報告。
- 三 社会福祉充実残額の算定結果について残額がなかったことを報告、監事監査報告の後、事業報告及び決算報告と合わせ承認。
- 四 評議員選任・解任委員会委員の選任を承認。
- 五 第三十九回評議員会の日時、場所及び議案等を承認。
- 六 太陽光発電に係る地域支援センターそしん屋根貸しを承認。
- その他、土砂災害及び理事長の職務執行状況について報告した。

●第三十九回評議員会

平成三十年六月十八日(火)

- 一 一三号議案及び監事監査報告まで第一八二回理事会と同じ。
- その他、第一八二回理事会で承認された四一六号議案、土砂災害及び理事長の職務執行状況について報告した。

後援会会員募集

*****会費の納入先*****

- 会費は個人一口、年1,000円から法人・団体一口、年10,000円から
- 会員には、新聞「そしん」をお送りします。
- 行事のご案内などをします。

●銀行振込は

●口座名は

●事務局

中南信用金庫国府支店 014-0139723

郵便振替はどこの郵便局でも 00270-0-19507です。

社会福祉法人素心会後援会 会長 鈴野七郎

※新しく会員になっていただける方は、ご住所を電話等でお知らせくださるようお願いいたします。

〒259-0103

神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1

素心会後援会

TEL.0463-71-1255

FAX.0463-73-0009



URL

http://sosinkai.jp

素心会
事業所
アドレス

素心学院	神奈川県中郡大磯町虫窪 39 - 1	TEL.0463 (71) 1255	FAX.0463 (73) 0009
素心デイセンター	神奈川県中郡大磯町虫窪 18 - 1	TEL.0463 (71) 1256	FAX.0463 (71) 1284
地域支援センターそしん	神奈川県中郡二宮町山西 1234-1	TEL.0463 (70) 3577	FAX.0463 (72) 2577
さざんかホーム	神奈川県中郡大磯町国府本郷 1308	TEL.0463 (61) 1519	FAX.0463 (61) 1519
かもめホーム	神奈川県中郡大磯町大磯 1370 - 23 コープKY2F	TEL.0463 (61) 5404	FAX.0463 (61) 5404
つばきホーム	神奈川県中郡大磯町国府新宿 482 - 1	TEL.0463 (71) 0990	FAX.0463 (71) 0990
シーベルホーム	神奈川県中郡大磯町石神台 3 - 18 - 16	TEL.0463 (71) 3878	FAX.0463 (71) 3878